

連載

はままつ文化財の散歩道

第12話 文化財建造物でお食事を

古 民家カフェ。はやってい
ますね。古い建物の活用
方法として、市内でも見掛け
ることが多くなってきました。
中には、文化財に指定され
ている建物もあります。

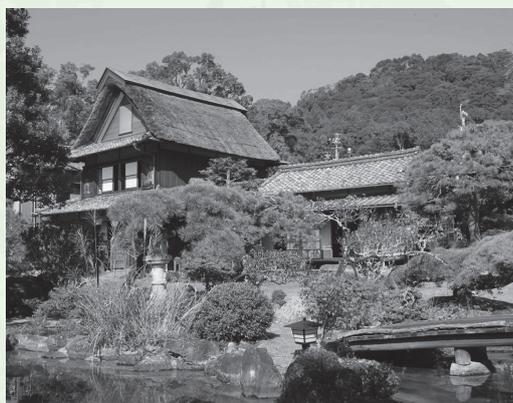
天童区春野町堀之内にある
「lavie librerie」(ラ
ヴィ・リーブル)は、明治一〇
年(一八七七)創業の「松本屋
旅館」(市認定有形文化財、建
物は大正四年(一九一五)の移
築)をリノベーションしたお
店です。ガラス張りの引き戸
を入るとまず目に入るのは、

柱に掛かる古時計と「電話室」
の文字。壁際には、旅館で使わ
れた和筆筍(わたんす)が並び、往時の旅
館の雰囲気を感じながら、
春野産の食材を使った食事を
楽しむことができます。

「雨漏りなどのメンテナンス
は大変だけれど、人が入れ
ば家は傷まない」と話すのは、
古いものが好きというカフェ
のオーナーさん。歴史の面影
を生かした温かい空間は、旅
館業時代と変わらず訪れる
人々を和ませています。



松本屋旅館
(市認定有形文化財)
レトロな雰囲気を
楽しむことができる
カフェとして再生



吉野屋(国登録有形文化財) 昭和初期の旅館建築

食事が楽しめる文化財建造
物は、このほかにもいくつか
あります。北区細江町気賀に
ある吉野屋は、国の登録有形
文化財。昭和二年(一九二七)
から一〇年(一九三五)にか
けて建てられた旅館建築です。
おもてなしを目的にした建物
だけに、変化に富んだ木材や
奇抜ともいえる意匠を凝らし
た内装が目を引きまします。

この地は元々、江戸時代の
旗本、近藤家の陣屋があった
所です。陣屋の名残を伝える
立派な庭園を眺めながらいた
だく割烹料理は、殿様気分が
味わえること請け合いです。

江戸時代の食事に関わる歴



お日待ち御膳
江戸時代の接待料理を忠実に再現

旧舞坂脇本陣



史考証も進んでいます。漁業
のまち西区舞阪町では、東海
道舞坂宿を中心に、伝統的な
生活文化が息づいています。
会食の際に共同利用していた
古い食器を活用して、舞坂宿
に宿泊した武士階級の接待メ
ニューを忠実に再現する試み
が続けられています。

日の出まで夜通し会食する
地元での風習にちなんで、「お
日待ち御膳」と名付けられた
再現料理。旧舞坂脇本陣(市指
定有形文化財)で試食するイ
ベントも行われました。歴史
的建造物をまさに、五感で味
わえる貴重な体験事業といえ
ますね。(文：浜松市文化財課)